



北本市とUR都市機構との連携協定に基づき、まちづくりを推進
～全国初 住宅付店舗のMUJI×UR～
～北本団地の地域医療福祉拠点化着手～

北本市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、令和2年3月26日に締結したまちづくりに関する連携協定に基づき、この度、以下2つの取り組みについて連携しながら推進することとなりました。

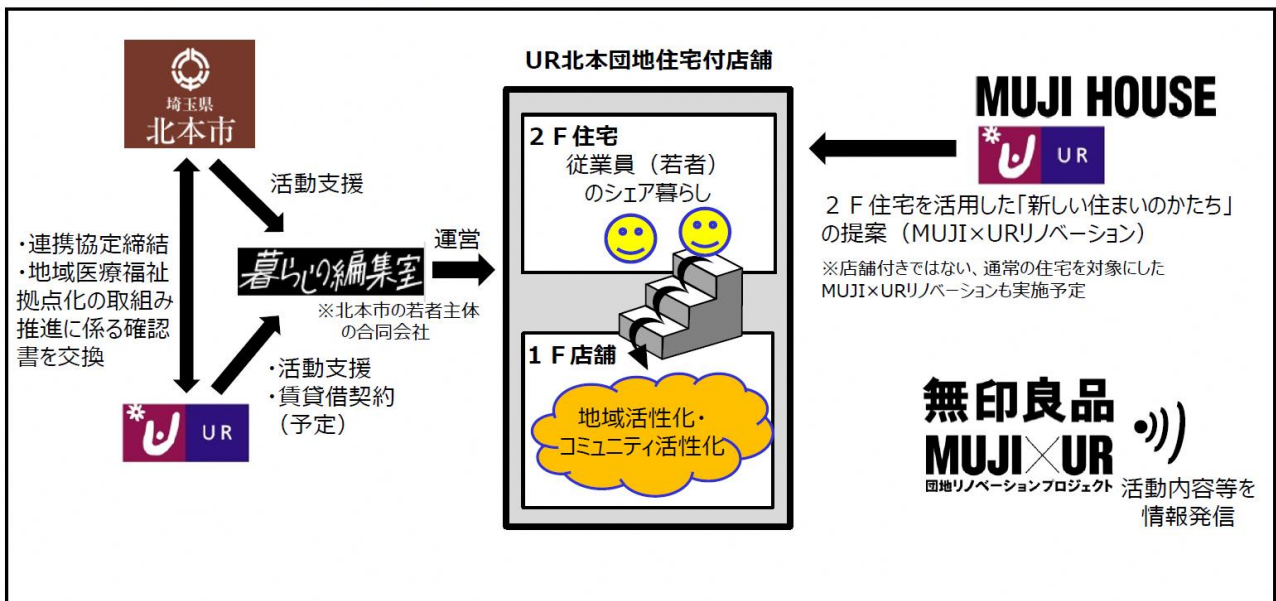
○全国初 住宅付店舗のMUJI×URによる地域活性化

北本団地において以下連携図のとおり、北本市・暮らしの編集室・良品計画・MUJIHOUSE・UR都市機構の5者の連携により、住宅付店舗（1F店舗、2F住宅）を活用した地域活性化を図っていきます。

この取り組みでは、2F住宅をシェアして暮らす若者が、1階店舗で地域活性化のための多様な活動（レンタルキッチンを活用したカフェ、北本団地の50年の歴史を振り返る写真展等を検討中）を行います。住宅付店舗は暮らしの編集室が運営し、店舗は令和3年3月にオープンを予定しています。

今回の住宅付店舗のリノベーションについては、住宅を対象にしたMUJI×UR団地リノベーション（※別添参照）を数多く実施してきたUR都市機構とMUJIHOUSEが、北本市からの要請に基づき、全国で初めて実施します。

北本団地活性化にかかる関係者との連携図



○地域医療福祉拠点化着手

北本団地において「多様な世代に対応した居住環境の整備及びミクストコミュニティ形成の推進」に向け、今年9月から北本団地の地域医療福祉拠点化（※）に着手しました。まずは地域関係者の方々と意見交換をするなかで課題認識のあった福祉事業者等の路上駐車を解消するために「医療・介護事業者用駐車スペース」の設置を行ったところです。

※地域医療福祉拠点化とは？

URでは、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指し、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」を推進しています。

地方公共団体や自治会等の地域関係者と連携し以下の3つの内容を総合的に実施しています。

- ①地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地を資源に、まちに必要なウェルフェアを

団地の地域医療福祉拠点化



詳しくは、 <https://www.ur-net.go.jp/welfare/kyoten/index.html> をご覧ください。

北本市の若者主体の合同会社である暮らしの編集室では、北本団地のオープンスペースを活用したキッチンカーでのカフェ等を計画しており、今後も、地域交流の場づくりや、北本団地商店街のアーケード等を活用した団地活性化など、連携協定に基づき地域関係者の方々と連携して取り組むとともに、様々な形で情報発信していきます。

【お問い合わせ先】

◆北本市 市長公室（電話）048-511-9119

◆UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

埼玉エリア経営部 ストック活用計画課（電話）048-844-2309

総務部 総務課 報道担当（電話）03-5323-2555

MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト」について

1 プロジェクトのご紹介

日本の暮らしのスタンダードを追求してきたUR都市機構と、無印良品事業を行っている株式会社良品計画の住空間事業を担い、愛着を持って長く使える「暮らしの器」としての家を提供する株式会社MUJI HOUSEとが連携し、現代の多様化した日本の暮らしに新たな賃貸リノベーションのスタンダードを発信すべく、平成24年6月に「MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトは、WEB上で展開するコラムなどを通したお客様とのコミュニケーションを踏まえ、団地の持つよき歴史を生かしつつ、これからも多くの方に長く心地よく住みつないでいただけるよう、「こわしすぎず、つくりすぎない」というコンセプトで、リノベーションに取り組むプロジェクトです。

◆「MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト」サイト

UR都市機構 <https://www.ur-net.go.jp/chintai/muji/>

無印良品の家 <https://www.muji.net/ie/mujiur/>

2 プロジェクト対象団地

平成24年度に関西の3団地で募集を開始したMUJI×UR団地リノベーションプロジェクトは、累計で48団地の展開となりました。対象団地については、「MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト」サイトをご覧ください。

3 MUJI×UR 共同開発パーツについて

このプロジェクトでは、URと無印良品が共同で開発したパーツを、自分の暮らしを自分らしく編集するアイテムとして、リノベーション住戸に使用しています。これらの共同開発パーツのうち、麻畳は一部の無印良品店舗にて購入が可能なので、自宅のリノベーションやDIYなどに活用することができます。

パーツ例	特長
<p>持出しキッチン</p>	 <p>壁付け専用のカウンターキッチン。 脚がないので、キッチン下が自由に使えます。</p>

<p>半透明ふすま</p>		<p>圧迫感のない半透明のふすま。空間は仕切り、光はやわらかく通します。</p>
<p>洗面化粧台</p>		<p>シンプルな洗面化粧台は、どんな空間にも合い、下のスペースを活用することで自由に収納を工夫できます。</p>
<p>麻畳 (無印良品店舗販売)</p>		<p>家具を置いて洋室のように使うこともできる麻を使った畳。柔らかな触れ心地と丈夫さを兼ね備えています。</p>
<p>組合せキッチン</p>		<p>キッチンとテーブルが同じ高さで組み合わせが自由なキッチン。</p>
<p>ラワン合板 フローリング</p>		<p>ラワン合板をそのままフローリングに。30×180 cmの大判サイズで、UV塗装で仕上げました。</p>
<p>白樺合板 フローリング</p>		<p>白樺と杉を使用したハイブリッド合板フローリングです。表面を白樺とし、合板基材を杉材とすることで、無垢材にみられる反りを少なくしました。</p>

以上